

鉄穴内遺跡・堂々ノ内II遺跡 現地説明会資料

場所：島根県雲南市三刀屋町六重（鉄穴内遺跡）
 同 町中野（堂々ノ内II遺跡）
日時：平成18年9月16日（土）14:00～
調査主体：島根県教育庁理蔵文化財調査センター

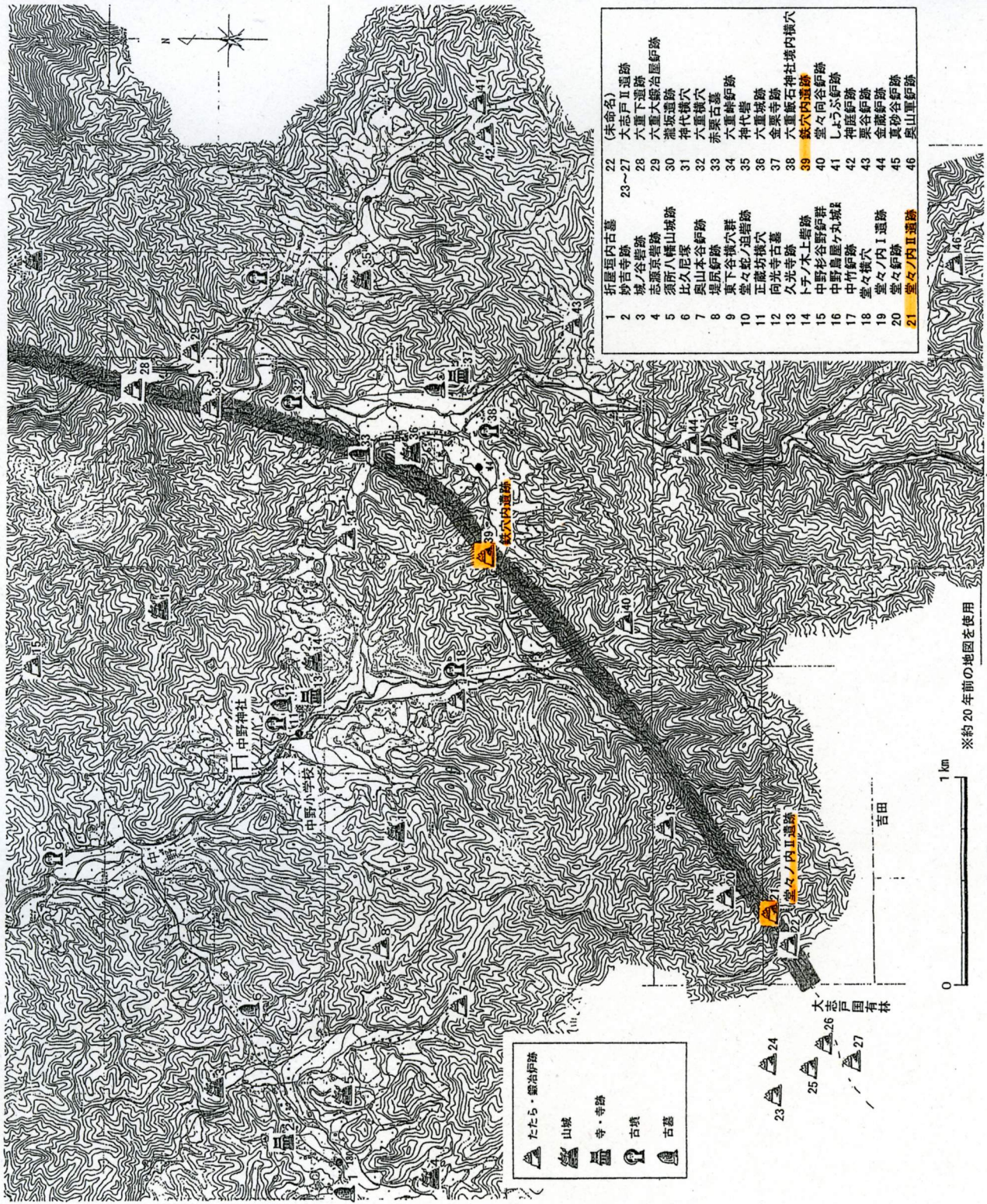
当センターでは中国横断自動車道尾道松江線建設に伴って平成18年4月から本格的に発掘調査を行っています。雲南市（木次～三刀屋～掛合～吉田）の予定路線内にある19か所の遺跡のうち14か所は、鉄穴流し（砂鉄採取）跡、たたら跡、鍛冶遺跡などの製鉄関連遺跡であり、これほど多くの製鉄関連遺跡をまとめて調査する機会はこれまで例がありません。

今回の説明会では、これらの遺跡のうち、三刀屋町で見つかった鉄穴内遺跡（古代の鍛冶集落跡）・堂々ノ内II遺跡（中世のたたら跡）の調査成果をお知らせします。

鉄生産の本場を調査中！

島根県内には製鉄関連遺跡が1,637か所あり、古代から明治時代ごろまで鉄生産が盛んに行われていました。なかでも雲南市は製鉄関連遺跡が密集する地域のひとつで、まさに鉄生産の本場と言えます。古代から鉄生産は試行錯誤を重ね、専門集団のなかで秘かに伝えられてきました。吉田の菅谷たたらは究極の鉄生産のかたちを今に伝えます。

このたび紹介する両遺跡のある三刀屋町六重・中野は古代には飯石郡飯石郷に属します。奈良時代の地誌である『出雲国風土記』には鉄に関する記載が3か所ありますが、いずれも「飯石郡」「仁多郡」の項にあります。その1つは「飯石小川（現在の多久和川）。源は郡家の正東一十二里なる佐久禮山（三刀屋町六重東南の山）より出て、北に流れて三屋川に入る。鉄あり。」であり、三刀屋町六重・中野周辺で鉄生産が盛んに行われていたことを示しています。



1	折原内古墓	22	(朱命名) 大志戸II遺跡
2	妙吉寺跡	23~27	六重下遺跡
3	城ノ谷跡	28	六重大鍛冶屋跡
4	志原京跡	29	池坂遺跡
5	須所八幡山城跡	30	神代橋穴
6	比久尾跡	31	六重橋穴
7	奥山本谷跡	32	赤雲古墓
8	堤原跡	33	六重橋跡
9	東下谷橋穴群	34	六重橋跡
10	堂々配ノ追廻跡	35	神代寺
11	正殿坊橋穴	36	六重城跡
12	久光寺跡	37	金栗寺跡
13	卜ノ木上寺跡	38	六重鍛冶神社境内橋穴
14	中野杉谷野跡	39	鉄穴内遺跡
15	中野鳥屋ヶ丸城址	40	堂々内谷跡
16	中竹跡	41	しよら跡
17	堂々橋穴	42	神庭跡
18	堂々橋穴	43	栗谷跡
19	堂々ノ内I遺跡	44	真砂谷跡
20	堂々ノ内II遺跡	45	真砂谷跡
21	堂々ノ内II遺跡	46	奥山重跡

▲ たたら・鍛冶跡
 ▲ 山城
 ▲ 寺・寺跡
 ▲ 古墳
 ▲ 古墓

六重・中野周辺遺跡図